

無線機
東電

デザインヒートシンクと一体化

LED照明ユニット 電磁波シールドコート デザインヒートシンクサービスも

東亜無線電機（大阪市浪速区日本橋5-11-7、江見一男社長）は、デザインヒートシンク二体型LED照明ユニットの販売を今月から開始した。電磁波シールドコーティングサービスも始めた。

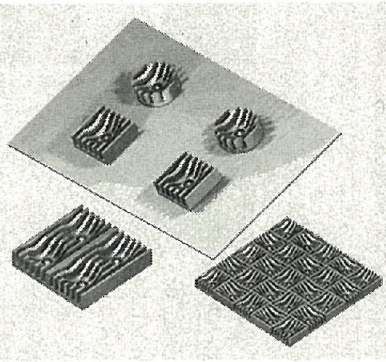
デザインヒートシンク二体型LED照明ユニットは超高輝度LEDモジュール基板とアルミ放熱フィンを一体化したLED照明ユニット。LEDチップの前面に放熱フィンを取り付け、

放熱フィンを光の拡散用に使い、LED光をデザイン性のある光にしている。サンプル品は47・5mm角、高さ20mmの正方形ユニットとφ47・5mm、高さ20mmの丸形ユニットを用意している。それぞれをユニットとし、用途に応じてユニットを自由に連結できる。ユニットサイズは自由に変更できる。

部品内蔵インサート成型基板メーカーのスギモトエンジニアリング、ヒートシンクメーカーの丸三電機との共同企画品。今月、意匠登録出願も行い、環境に優しいデザイン照明として店舗用、インテリア用などに拡販していく。

スギモトエンジニアリングが、超高輝度LEDを実装した特殊モジュール基板の製造とアルミ放熱フィンとの組み立てを行う。丸三電機はアルミ放熱フィンを製造。販売は東亜無線電機と丸三電機の両社で行う。電磁波シールドコーティングサービスは、樹脂筐体や部品に塗装、蒸着、メッキで電磁波シールドコーティングするノイズ対策サービス。携帯電話などの電磁

東亜無線電機のデザインヒートシンク二体型LED照明ユニット（正方形ユニット、丸形ユニット、連続ユニット）



波シールドコーティングを得意とするプラスチックと捉携し、ノイズ測定から樹脂筐体や部品への電磁波シールドコーティングまで一貫して行う。

銀、銀銅、ニッケル、銅の導電塗装、アルミ、銅十

樹脂筐体 SUSの蒸着加工、銅十二ヶケルの無電解メッキで樹脂筐体や部品に電磁波シールドコーティングする。